



三重の子



< 学校指標 >

— かしこく やさしく たくましく —

足利市立三重小学校
校長 浅海 紀幸

秋 おおきく実れ、みんなの「できた！」



朝晩は肌を感じる風に秋の深まりを感じられる季節となりました。

2学期が始まって1ヶ月、おかげさまで、子供たちは毎日元気に学校生活を送ることができています。

学校では、6日(木)の学校音楽祭、13日(木)に行われる陸上記録会に向けた練習にそれぞれ熱がはいっています。また、18日(火)は3年生、20日(木)の2年生、21日(金)には1年生が楽しみにしている「遠足」が予定されています。心配された新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着きを取り戻す中、目的地や立ち寄り先と協力して感染対策を十分に施し、各行事の目的が達成できるように計画を進めています。

実りの秋です。様々な活動をとおして子供たち一人一人の「できた！」がおおきく実るよう支援していきたいと考えます。引き続き、ご家庭におかれましても「基本的な感染予防対策」を徹底し、子供たちが安心して活動に取り組めますよう、ご支援、ご協力をお願いいたします。



学校公開 9月21日(水) 2～4校時



新型コロナウイルス感染拡大のため昨年度まで実施を中止していましたが、今年は、ご来校いただく方を児童のご家族とし、事前の健康チェック、当日の人数を制限させていただくことで実施いたしました。日常の授業の様子、運動会の練習、講師の先生をお招きした「三重地区の歴史」講話などを参観していただきました。



当日は3時間の公開に、延べ160名ほどの保護者の皆様にご来校いただき、子供たちの学校での様子を参観していただきました。授業参観とはまた違った緊張感の中、子供たちは真剣に学習に取り組んでいたようです。今後も、新型コロナウイルス感染拡大に努めながら、教育活動に取り組みたいです。学校公開にご参加いただき、ありがとうございました。



ダイコンの種まき



9月14日、今年も校庭東側の畑に「ダイコン」の種をまきました。夏休み中に除草し耕した畑に全児童一人一人が種をまきました。冬の収穫を目指し、水やり、除草、苗の世話等を行います。たくさんのダイコンがとれるように、みんなでしっかり世話をしたいと思います。



今年も、畑を耕すにあたり、地域の方から耕運機をお借りしました。地域の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。また、今後も三重小学校の教育活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

足利市放課後子ども教室

「みえっくすチャレンジ教室」が始まりました。



「足利市放課後子ども教室」とは、放課後に小学校の教室等を利用して、子供たちの安心・安全な活動拠点を設け、学習活動やスポーツ・文化活動などを行うもので、足利市教育委員会事務局生涯学習課が中心となって行う事業です。

三重小学校では、本校のキャラクターである「みえっくす」から『みえっくすチャレンジ教室』という名称で21日（水）から活動を開始しました。4～6年生の児童を対象に、毎週水曜日の放課後（15:00～16:00）北校舎1階の教室で活動を行っています。子供たちの活動は、地域の学習アドバイザーの方々が支援をしてくださいます。本校では、三重地区2名の主任児童委員さんを中心に、大学生のボランティア、西中学校生徒（三重小卒業生）ボランティア、生涯学習課の職員の方々が学習アドバイザーとして子供たちの活動を見守ってくださいます。



活動には14名の児童が申込み、9月は21日（水）28日（水）の2回、活動が行われました。2回目の活動からは、西中ボランティアの生徒にも協力をいただいています。参加する子はそれぞれ宿題や自主学習に取り組んでいます。今後は、地域の学習アドバイザーの皆様と一緒にいろいろな活動に取り組む予定です。学習アドバイザーの皆様、「みえっくすチャレンジ教室」の活動をどうぞよろしくお願いいたします。